



西中にお住いの  
鈴木 宏一さん・由加さんの

かずま  
長男 一真 くん (4歳)

しおり  
長女 詩織 ちゃん (1歳7か月)

最近、ガンダムにはまってる一真と、  
食べることが大好きで、お世話好きの  
詩織です。

たまにケンカもするけど、一真の夢は  
詩織と結婚することです。  
お兄ちゃん、私を守ってね!

みなさんのお宅のアイドルを募集しております。市役所へどしどしお寄せください!

## 下田人の息づかい

問合せ先 建設課都市住宅係 ☎22219



下田市出身で日本の商業写  
真の祖と言われる下岡蓮杖。  
下岡の岡方村出身であるか  
ら「下岡」、蓮の杖が彼のトレ  
ードマークであったから「蓮  
杖」という号でした。  
その下岡蓮杖翁の偉業を顕  
彰し、昭和3年に建立され  
たのが下岡公園の中腹に位置す  
る「下岡蓮杖記念碑」です(ま  
ち遺産登録No.71)。



毎年6月、蓮杖を称え、こ  
の場所で行われる下岡蓮杖顕彰祭が行  
われます。

蓮杖は本名を久之助といい、  
文政6年に下岡で生を受けま  
した。彼は絵描きを目指し、  
奔走しますが、あるとき銀板  
写真を目にします。

筆を用いるしか表現方法を  
知らなかった彼にとって、対



象そのものを切り取る「写真」  
という技術を目にした瞬間の  
驚きは如何ほどのことであつ  
たでしょうか。

蓮杖が実際に写真技術を習  
得し、それを生業としたとき、  
彼は既に40歳近かったとい  
います。現代では40歳で起業、  
というのはよくある話ですが、  
幕末から明治にかけての平均  
寿命(60歳前後と言われます)  
を考えると、かなり遅咲きで  
あつたと思います。

蓮杖は写真業の他にも牛乳

販売やビリヤードなど新しい  
ものを商売として取り入れた  
先駆者でもあります。

常に新しいものを取り入れ  
る彼の心意気が「下田人」の  
息づかいを感じさせるまち遺  
産なのではないでしょうか。

近年では「下岡蓮杖プロジ  
ェクト」が発足し、SNSで  
下岡の日常を切り取る「下岡  
写真部」の活動も盛んです。

「下岡蓮杖記念碑」は写真  
で彩られる下岡のまちを今一  
度再認識させるまち遺産です。

### 伊豆縦貫自動車道を早期完成しよう!!

「伊豆縦貫自動車道ロゴマーク」を利用して、伊豆縦貫自動車道の整備促進と活性化を県内外にPR  
しましょう!!ご利用方法については、以下の市ホームページをご覧ください。

■ 下田市ホームページ <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>

